学校番号	1202

令和５年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	改訂版 最新数学Ｂ（数研出版）						
副教材等	プラクティスノート　数学Ｂ（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・「課題を理解する → 結果を予想する → 解決の方向を構想する → 解決する → 解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といった一連の過程で、自分の考えを発表したり、議論したりする活動を行います。
・問題集の問題をまず自分で解いてみましょう。ただ答えを求めるだけでなく、途中の式や考え方も書くようにしましょう。また、各自答え合わせをしてください。答え合わせは、自分がどこでつまずいたかを知るための大切なものです。
・家庭学習における課題は定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。

2　学習の到達目標

ベクトル，数列について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに，それらを活用する態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観点の趣旨	ベクトル，数列に関心をもつとともに，それらを事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，ベクトル，数列における数学的な見方や考え方を身に付けている。	ベクトル，数列において，事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	ベクトル,数列における基本的な概念，原理･法則などを体系的に理解し,知識を身に付けている。
評価方法	学習活動への取り組み 課題・提出物の状況	確認テスト 定期テスト ワークシート レポート 観察等	確認テスト 単元テスト 定期テスト ワークシート 観察等	確認テスト 単元テスト 定期テスト レポート 観察等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	ベクトルとその演算	ベクトルの基本的な概念について理解し，その有用性を認識するとともに，事象の考察に活用できるようにする。	○	○	○	○	a: ベクトルの演算に興味をもち，数式の演算法則や図形的な意味・表現との類似点を考察しようとする。 b:スカラー量とベクトル量とは、図形も含めた多様な表現の一つであることを理解している。 c:ベクトル量の演算、ベクトル量とスカラー量の間の演算の関連性をつかみ、演算を実行する。 d:ベクトル量に関する定義・演算・相互関係についての基本的な知識を得る。	学習活動への取り組み 課題・提出物の状況 確認テスト 単元テスト ワークシート レポート 観察等
	ベクトルと平面図形	ベクトルの基本的な概念と平面図形との関連性について理解し，その有用性を認識するとともに，事象の考察に活用できるようにする。	○	○	○	○	a:ベクトルを利用して、平面図形の問題を考察しようとする。 b:点と直線について、ベクトルを用いる見方、考え方ができる。 c:ベクトルを用いた、位置・距離などの表現ができる。 d:ベクトルを用いた図形上の位置等の公式を理解している。	学習活動への取り組み 課題・提出物の状況 確認テスト 単元テスト ワークシート レポート 観察等
2学期	空間のベクトル	ベクトルの基本的な概念について理解し，その有用性を認識するとともに，事象の考察に活用できるようにする。		○	○	○	b:点、直線、平面について、ベクトルを用いる見方、考え方ができる。 c:ベクトルを用いた、位置・距離などの表現ができる。 d:ベクトルを用いた図形上の位置等の公式を理解している。	確認テスト 単元テスト ワークシート レポート 観察等
2,3学期	数列	簡単な数列とその和および漸化式と数学的帰納法について理解し，それらを事象の考察に活用できるようにする。	○	○	○	○	a: 数の並び方に興味をもち，その規則性を発見しようとする意欲がある。 b:項の間の関係を用いて任意の項の値を求めることができることを理解している。 c:項の値と関係式の間のさまざまな演算を利用できる。 d:規則性と一般化、個別の項の関連性を捉える方策を理解している。	学習活動への取り組み 課題・提出物の状況 確認テスト 単元テスト ワークシート レポート 観察等

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:数学的な見方や考え方
c:数学的な技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。